学校番号	1009

令和８年度　音楽科

教科	芸術	科目	音楽史	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	音楽史を学ぶ（教育芸術社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・音楽史上代表的な作曲家の生涯や西洋音楽史、日本音楽史、オーケストラについてなど、映像やプリントで学習します。３部合唱、グループアンサンブルなどの実践実習も平行して取り組み、多様な音楽の文化的価値を学びます。
・学習の到達度は、授業内テストやプレゼンテーションで評価します。
・音楽が、生涯ずっとみなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

２　学習の到達目標

音楽の学習を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、専門的な音楽に関する資質・能力を次のとおり育成する
１．我が国及び諸外国の音楽の歴史について理解することができるようにする。
２．多様な音楽の文化的価値について考えることができるようにする。
３．音楽に関する伝統と文化を尊重する態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	【知識】我が国及び諸外国の音楽の歴史について理解している。 【技能】なし	音楽文化の歴史を踏まえ、広い視野を持ちながら時代背景と密接な関わりを持つ多様な音楽の文化的価値について考えることができている。	音楽史の学習に主体的・協働的に学習に取り組んでいる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	音楽の起源～バロック時代について学ぼう！	・古代、中世、ルネサンス (グレゴリオ聖歌、多声歌唱、教会音楽) バロック時代 (モンテベルディ、スカルラッティ、ヘンデル、通奏低音)	a:【知識】諸外国の音楽の歴史について理解している。 b:音楽の起源と時代背景との関わりを感じながら、音楽の文化的価値について考えることができている。 c:音楽の起源～バロック時代の音楽について関心を持ち、主体的・協働的に学習に取り組もうとしている。	テスト	ワークシート	観察
2	古典派の音楽について学ぼう！	・J.S.バッハ ・ハイドン ・モーツアルト ・ベートーヴェン	a:【知識】諸外国の音楽の歴史について理解している。 b:古典派の音楽と時代背景との関わりを感じながら、音楽の文化的価値について考えることができている。 c:古典派の音楽について関心を持ち、主体的・協働的に学習に取り組もうとしている。	テスト	ワークシート	観察
3	ロマン派の音楽について学ぼう！	・ショパン ・ベルリオーズ ・ブラームス ・チャイコフスキー その他、オーケストラについて	a:【知識】諸外国の音楽の歴史について理解している。 b:ロマン派の音楽を時代背景との関わりを感じながら、音楽の文化的価値について考えることができている。 c:ロマン派の音楽について関心を持ち、主体的・協働的に学習に取り組もうとしている。	テスト	ワークシート	観察

	日本の音楽について学ぼう！	・雅楽 ・人形浄瑠璃 ・歌舞伎　など	a:【知識】我が国の音楽の歴史について理解している。 b:我が国の音楽と時代背景との関わりを感じながら、音楽の文化的価値について考えることができている。 c:我が国の音楽について関心を持ち、主体的・協働的に学習に取り組もうとしている。	テスト	ワークシート	観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度